

平成30年度予算見積調書

課室名：少子政策課

担当名：企画・子育てムーブメント担当

内線：3343

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B103	パパ・ママ応援ショップ事業費			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	子育て環境づくり対策費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	パパ・ママ応援ショップ事業実施要綱 「赤ちゃんの駅」登録事業実施要綱		宣言項目	01 結婚・出産・子育ての希望実現			
					分野施策	010101 きめ細かな少子化対策の推進			
1 事業概要				5 事業説明					
<p>子育て世帯への優待制度である「パパ・ママ応援ショップ」事業や、乳幼児連れの外出を支援する「赤ちゃんの駅」登録事業を通じ、企業や地域社会全体で子育て家庭を支える気運を醸成するとともに、子育て家庭が「地域に支えられている」「子どもを持って良かった」と実感できる社会づくりを進める。</p> <p>(1) パパ・ママ応援ショップ事業費 21,774千円 (2) 赤ちゃんの駅設置事業費 101千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア パパ・ママ応援ショップ事業 21,774千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優待カードの印刷代、協賛店舗新規開拓、少子化対策総合サイト保守管理 ・パパ・ママ応援ショップ事業実態調査 <p>イ 赤ちゃんの駅登録事務 101千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステッカー送付代 <p>(2) 事業計画</p> <p>子育て世帯への優待制度である「パパ・ママ応援ショップ」事業や乳幼児連れの外出を支援する「赤ちゃんの駅登録事業」を通じ、「子育てムーブメント」の社会全体への一層の浸透を図る。</p> <p>○「パパ・ママ応援ショップ」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の優待カードが平成30年度末に期限を迎えることから、新しい優待カードを子育て家庭へ配布する。 ・パパ・ママ応援ショップや赤ちゃんの駅、ママ・リフレッシュ協賛店舗等に関する情報も検索できる少子化対策総合サイトの運営を行う。 ・パパ・ママ応援ショップ協賛店及び県民（子育て家庭）に対する調査を行い、事業の実態を把握し、社会全体で子育てを応援する取組みのための資料とする。 <p>○「赤ちゃんの駅」登録事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃんの駅」（授乳・おむつ替えができる施設）の設置促進を図るための登録事業を行う。 <p>(3) 事業効果</p> <p>地域社会全体で子育て家庭を支えようという意識が向上する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>平成28年4月 内閣府主導による子育て支援パスポート事業の全国共通利用に参加 平成29年4月 47都道府県全てが参加し、全国でパパ・ママ応援ショップ優待カードが利用可能 平成29年8月 パパ・ママ応援ショップの対象となる子の年齢を「18歳に達して次の3月31日を迎えるまで」に拡大</p>					
2 事業主体及び負担区分									
(1) (県10/10)									
※パパ・ママ応援ショップ事業実態調査									
(国1/2)(県1/2)									
(2) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×2人=19,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入						
決定額	21,875	2,500	5					19,370	△2,633
前年額	24,508		5					24,503	